

本巖氏(1927年卒)が会長となり、翌年に理事会で「同窓会山桜会」と称していたのを「校友会山桜会」と改めた。さらに11月の総会で学院に対し「百周年時点での学院のあるべき姿を提示されたい」と要請する決議が採択された。この要請は学院として簡単に回答できるものでないのに、1979年9月の理事・評議員合同の役員会は緊急議案として「学院内が正常であると判断し難いため九十周年記念事業に係わる募金活動への協力を凍結する」ことを決議した。事前の議事案内の記載はなかったので私は学会参加で欠席し、この暴挙を阻止しえなかったのが私の山桜会活動で唯一悔いに残るものとなった。これを主導した僅少の役員の意図は不明だが、山桜会としても一大汚点になったと言える。こうした状況に片桐先生の遺徳を想う有志が、先生の主治医であった小山弘氏(1934年卒)、前出の林匡夫氏、牟田實氏(1936年卒)の呼びかけに応じて「片桐先生を偲ぶ会」を結成し、『片桐武一郎先生』が翌年に上梓された。

この募金凍結の流れに続いて1982年に入ると将軍山会との間に不協和音が発生し始め、翌年に増井正氏(1948小、1951年中卒)が会長事務取扱として事態の收拾に当てられたが、1984年4月に将軍山会は一方向的に分離独立を宣言するにいたった。その直前に前出の牟田實氏が会長となり、募金凍結を解除して学院との関係を修復され、山桜会の活性化に努められた。1986年の役員改選では副会長3名と常任理事9名は追手門になってからの卒業生で、常任理事で偕行社の卒業生は私一人となった。その私は将軍山会の独立宣言の前日に追手門学院を退職し、短大講師とカウンセリングの仕事についていた。会長の努力で大手前中高の体育館の隣の部屋を事務室に借用でき、時給事務員を公募した。会長のお宅で応募者数名と面接し、能筆で誠実な女性を採用することができた。翌年学院では浜守小学校校長が百周年記念事業事務局を兼任し、その事務室が小学校本館の二階に設けられ、山桜会も同居する事になってやっと居場所が定まった思いがした。浜守局長からは記念事業の一環として卒業生の動静把握を学院として実施したいとの要請があり、1988年3月に山桜会方式を踏襲することで同意が成立、システム運用は日本電子計算(株)が担当することになった。

その後で学院長の交替、浜守局長の退職があり、昭和天皇の御重体による自粛ムードが重なって百周年記念事業は大幅に縮小された。その事業の一つであった大阪城公園の記念植樹は山桜会が協賛することになった。今

も大阪城の京橋口を入ったところに山桜の園があり、記念碑が建てられている。記念総会は11月に開催され、その日に『記念会員名簿』と『復刻版・山桜会報』が発行された。復刻版は創刊号より第43号までの会報の主要な紙面をそのまま一冊に収録したものであるが、創刊号が事務室になく困っていたところ、牟田会長が保管されていたのが分かった時は本当に有難かった。そしてこの総会で将軍山会を分離し、そのための会則改定が議決された。

翌年梅垣健三氏(1934年卒)が会長として牟田前会長の方針を継承され、1990年の総会には実行委員会が組織され、若い会員が多数委員として活躍した。この委員会方式は次第に山桜会執行体制に浸透していき、1992年からは総務、財務、広報の三委員会が設置された。広報委員会は会報を現行のタブロイドサイズに改め、卒業生の動向管理について日本電子計算(株)と交渉を進め、事務室にパソコンを設置した。また会長と同窓である山岡吉郎兵衛氏(1934年卒)がその年頭に卒業生やPTAに呼びかけ開催された「好っきゃねん追手門」を翌年から「山桜新年会」として継承することになった。今でも新年会にはPTAの方が出席されている。翌年には将軍山会との関係修復のため砂原英雄氏(1929年卒)を議長に「追手門学院校友会連絡協議会」が設立され、何度か会合が重ねられたが、はかばかしい結果が得られたとは聞いていないのが残念である。1995年の新年会は二日前に起こった阪神淡路大震災で中止になった。幸い学院はほとんど被害がなく、百十周年記念の準備が進捗したが、記念事業としては小学校本館・講堂の立て直しが主たる事業となった。65年間にわたって偕行社・追手門の教育を支えてきた学舎が姿を消すのにはやはり感無量のものがあつた。

百十周年の1998年を迎え新会長吉本晴彦氏(1936年卒)のもとで委員会の組織化が一層進展し、各委員長が常任理事となり正・副会長のもとで実質的な運営に当たることになった。9月に竣工した小学校の新本館の一部に山桜会室が設けられたのは感謝に耐えない。

そして21世紀に入った年に川原俊明氏(1960年小・63年中・66年高卒)が会長に選任され、山桜会も追手門卒業生の時代になったと言える。実は川原会長は高校時代に担任させてもらったので、教え子が会長としてさらに充実した委員会で活躍される若い会員とともに山桜会を盛り上げてくれるのは教師冥利につきるといえる。吉本会長の時から私は評議員にしていたが年齢のこともあって喜んでいて、山桜会の将来も若い会員諸氏に託すことができるようになったので、この辺で思い出の手記も筆をおきたいと想います。

ランドセル・スクールバッグ関連・その他バッグ全般、企画・総務



URL: www.i-chikyu.co.jp

創業80年の信頼と実績

株式会社 池田地球

大阪 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町1-2-8
TEL (06) 6262-0451(代)

東京 〒111-0053 東京都台東区浅草橋4-10-8
TEL (03) 3851-1848(代)

ぼん繁

天満橋本店 〒540-0008 大阪市中央区大手前 1丁目6-7 TEL 06-6943-9361	北 浜 店 〒541-0041 大阪市中央区北浜 2丁目2-22北浜中央ビルB2 TEL 06-6231-9801
--	--

+++++

繁 蔵 本 店
〒540-0032
大阪市中央区天満橋京町2-15
岡本ビルB1F
TEL 06-6943-1446

有限会社 ぼん繁 代表取締役 **本田 司郎**
〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目6-7
TEL 06-6943-9361 【事務所】TEL 06-6941-4646
FAX 06-6941-5845
bonsige@livedoor.com shige_zo@livedoor.com



NIPPON KYOHAN

日本鏡板工業株式会社
〒555-0012
大阪市西淀川区御幣島6丁目12-12
<http://www.nkweb.co.jp/>